

新市長「施政方針演述」への質疑



新たな「子育てNo1」宣言 & 新医療センターは？

民報

おうしゅう

読者版

発行 所
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



6月5日から開かれている第2回定例会、5日の郷右近浩市長の施政方針演述、高橋勝教育長の教育方針演述に対する質疑が11日行われました。

そのうち施政方針演述にかかわり、日本共産党議員団の質疑の一部(概略)をお伝えします。

「子育てするなら奥州市いわてNo1宣言」

『施政方針演述』では、「教育と子育て環境の改善こそが最も価値ある投資」だとし、令和8年度から「市内小中学校における給食費の完全無償化」を実現し、「子育てするなら奥州市いわてNo1宣言」を高く掲げ、子育て世代に安心を届け、「選ばれる奥州市」を作り上げるとしています。

具体的施策は？

佐藤美雪



議員は、「いわてNo1」宣言をする

からには、学校給食費の無償化や紙おむつの負担軽減の検討、産後ケアの充実をするというが、それ以外にも必要と思われる施策について質しました。

色々考えているが…

郷右近浩市長は、「色々考えている」が今は「差し控えた」とし、「子育て世代」「皆様方がしっかり安心できる形を大きくしたい」と述べ明らかにしませんでした。

地域医療の

グランドデザイン

『施政方針演述』では、「市民の安全で安心な暮らしを支えるためには、持続可能な地域医療体制の構築が喫緊の課題です」とし、「医療関係者と対話を密にし」「地域医療のグランドデザイン」を描き、その実現に向けたロードマップの検討を速やかに進めるとしています。

なぜ「非公開」の会議か？

千田みつ子議員は、医療関係者との対話について、「すで

に6月2日に奥州市地域医療検討会議がスタートしたことにふれ、なぜ医療関係者との対話をする手法で、かつ秘密会となったのかと質しました。

フリーに思いを語っていただきたい

郷右近浩市長は、これまで地域医療を考えたとき、市立病院の先生方、県立病院、民間の開業医の先生方としっかりした話をする場がなかった、県や保健所が主体である地域医療連携会議などで「なかなか意見を言えなかった」ということもあり、フリートークで全部思いを話していたためにオープンでない形(非公開)としたと釈明しました。

市民不在の結論に

なりかねない!!



千田みつ子議員は、「持続可能な地域医療体制だけ

議論し、市民不在で医療関係者だけで医療はこうあるべきと決め、これ以上無理だからとなりかねない。それでは暮らしを守り医療を守ることになるのか疑問だ」として、「対話というなら違う形でやるべきでないか」と質しました。

採算がベースではない

郷右近浩市長は、医療関係者とだけ話をするつもりはない。とだけ話をするつもりはない。自治体病院に求められる責務や不採算部門をしっかり守る、採算ベースだけではないことをご理解いただきたい。

まずは安全対策

『施政方針演述』では、「総合水沢病院の老朽化や耐震性不足への対応を先送りできないため、施設の安全対策を早急に講じる」としています。

水沢病院の老朽化は？

千田みつ子議員は、総合水沢病院は築43年、(一部58年)経過しており施設そのものもたない、それでも耐震補強から検討していくというが、老朽化についてどのように考えているか質しました。

建て替えまで放置は

無責任と考える

郷右近浩市長は、施設を「全部拝見させていただいた。こんなところで医療提供しているのか」という思いもある。医療供給体制を止めることはできない。また、令和12年の建て替えまで待てというのは行政として無責任でないかと考えて

いる。とにかくできることを早期につくりながら対応していきたい」と答弁しました。

モバイルで

妊婦検診を実施

『施政方針演述』では、「出産を控えた妊婦の妊婦検診時の移動に係る負担軽減」のため、現在市内で運用しているモバイルクリニック車両を活用した遠隔による妊婦検診の実施に向け取り組むとしています。

課題と実効性は？

佐藤美雪議員は、「市の地域医療アドバイザーの産婦人科医が検診医として実証実験が行われたと聞くが、課題と実効性はどうか」と質しました。

お産する病院の

協力が不可欠

健康こども部長は、3回の実証実験を行ったとし、移動診療車、検診をする機器等の性能、通信環境等の技術的な部分を中心に取り組んでいることを明らかにしました。

また、お産をする病院の医師との連携が必要不可欠で、理解が得られるかどうかは課題だと述べました。